

## 高等学校 芸術（美術）

### 解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**、**2** については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、**4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**、**2** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。



1 (1)～(9)は、「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)に関する内容、(10)は、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(令和3年8月文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター作成)に関する内容について引用したものである。次の(1)～(10)の問いに答えよ。

(1)「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 1 目標」について、【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、【①】に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し【①】に発想し構想を練ったり、【②】をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を【③】することができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、【④】美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	①	②	③	④
1	創造的	自己の価値観	広げたり	生涯にわたり
2	独創的	幅広い視点	深めたり	深く
3	創造的	価値意識	深めたり	生涯にわたり
4	具体的	主体的に関心	広げたり	深く

(2)「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 2 内容 A 表現(2)イ(ア)及び(イ)」について、【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

(2) デザインに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
 イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能  
 (ア) 【①】材料や用具の【②】を生かすこと。  
 (イ) 表現方法を創意工夫し、【③】を基に【④】表すこと。

	①	②	③	④
1	意図に応じて	特性	目的や計画	創造的に
2	目的に合わせて	特質	目的や計画	見直しをもって
3	目的に合わせて	特長	主題	独創的に
4	意図に応じて	特徴	主題	見直しをもって

(3)「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 2 内容 B 鑑賞(1)イ(イ)」では、生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞に関する事項を身に付ける指導について述べられている。【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

日本及び諸外国の美術作品や【①】などから【②】や創造性などを感じ取り、日本の美術の歴史や【③】、それぞれの国の美術文化について考え、【④】を深めること。

	①	②	③	④
1	表現方法	美的感覚	伝統工芸	見方や感じ方
2	文化遺産	美意識	表現の特質	見方や感じ方
3	伝統工芸	美意識	表現方法	理解
4	文化遺産	美的感覚	表現の工夫	愛情

(4)「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 3 内容の取扱い(2)」について、【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

生徒の特性，【①】を考慮し，内容の「A表現」の(1)については絵画と彫刻の【②】したり【③】に扱ったりすることができる。また，(2)及び(3)については【②】して扱うことができる。その際，感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現と，目的や機能などを考えた表現の学習が【④】に行えるようにすること。

	①	②	③	④
1 発達の段階		いずれかを選択	総合的	一体的
2 学校や地域の実態		いずれかを選択	一体的	調和的
3 授業進度		交互に実施	体系的	総合的
4 生徒の学習状況		選択して実施	調和的	体系的

(5)「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 3 内容の取扱い(4)」について、【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

内容の〔共通事項〕は，表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力であり，「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて，十分な指導を行い，各事項の【 】を通して，生徒が造形を豊かに捉える多様な視点がもてるように配慮するものとする。

- 1 造形的な見方・考え方
- 2 造形的な特徴
- 3 実感的な理解
- 4 具体的な学習活動

- (6)「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 3 内容の取扱い(8)」について、【 】に入る内容の記述として当てはまらないものはどれか。1～4から一つ選べ。(なお、部分的に語尾の表記を変更している。) 解答番号は

内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、芸術科美術の特質に応じて、発想や構想に関する資質・能力や鑑賞に関する資質・能力を育成する観点から、〔共通事項〕に示す事項を視点に、【 】活動などを取り入れるようにする。

- 1 アイデアスケッチで構想を練る
- 2 主題に合わせてイメージを確認する
- 3 作品について批評し合う
- 4 言葉などで考えを整理する

- (7)「高等学校学習指導要領解説 芸術編 音楽編 美術編」における「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 3 内容の取扱い(10)」に関する解説に記載されている内容について、次の各文のうち誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 事故防止のためには、刃物類をはじめとした用具や材料の正しい使い方や手入れや片付けの仕方などの安全指導を徹底することが必要である。
- 2 用具や機械類は学期ごとによく点検整備し、特に、刃物類の扱いや保管・管理には劣化の点検など十分留意し、事故を招かないようにすることが必要である。
- 3 塗料類及び薬品類の使用に際しては、換気や保管・管理を確実に行う。
- 4 薬品などに対してアレルギーのある生徒などを事前に把握するなどの配慮も必要である。

(8) 「高等学校学習指導要領解説 芸術編 音楽編 美術編」における「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い 1(3)」に関する解説に記載されている内容について、次の各文のうち誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 障害のある生徒などの指導に当たっては、個々の生徒によって、学習活動を行う場合に生じる困難さが異なることに留意し、個々の生徒の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫すること。
- 2 芸術科の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないよう留意するとともに、生徒の学習負担や心理面にも配慮する必要がある。
- 3 形や色彩、材料などの変化を見分けたり、微妙な変化を感じ取ったりすることが難しい場合などでは、生徒の実態やこれまでの経験に応じて、造形の要素の特徴や働きが分かりやすいものを例示する。
- 4 主題に応じて一人一人が自分に合ったものが選べるように、多様な材料や用具を用意したり種類や数を幅広く選択できるようにしたりするなどの配慮をする。

(注)

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、法令からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

(9) 「高等学校学習指導要領解説 芸術編 音楽編 美術編」における「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い 2(1)及び(2)」に関する解説に記載されている内容について、次の各文のうち誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 各科目の特質を踏まえ、学校の実態に応じて学校図書館を活用するとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどを指導に生かすこと。
- 2 インターネットを活用した情報収集は即時性、利便性等において優れているが、情報の見極めなどに配慮する必要がある。
- 3 各科目の特質に応じて、地域の文化施設や社会教育施設等の活用を図ったり、地域の伝統芸術を鑑賞する機会を設けたり、優れた技能をもつ地域の人々の協力を求めたり連携を図ったりするなど、様々な指導上の工夫をすることが大切である。
- 4 各科目の表現や鑑賞の学習では、適切な資料や情報を提示することによって、生徒の発想や意欲を刺激し、効果的に学習を深めることができる。

- (10) 『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 高等学校 芸術（美術）第3編 第1章 2』では、題材の評価規準の作成のポイントについて述べられている。【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

平成30年告示の芸術科（美術）の高等学校学習指導要領では、その改訂において、教科の目標では、育成を目指す資質・能力を一層明確にし、生徒の発達の段階や特性等を踏まえつつ、(1)「知識及び技能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理している。また、内容についても目標に対応して、資質・能力を相互に関連させながら育成できるよう整理している。具体的には、(中略)「知識」は、【①】、「技能」は、「A表現」(1)～(3)【②】の指導事項に位置付けられている。「思考力、判断力、表現力等」は、「A表現」(1)～(3)【③】及び【④】の指導事項に位置付けられている。「学びに向かう力、人間性等」は、「A表現」、「B鑑賞」及び〔共通事項〕を指導する中で、一体的、総合的に育てていくものとして整理している。

- |   | ①        | ② | ③ | ④        |
|---|----------|---|---|----------|
| 1 | 〔共通事項〕   | ア | イ | 「B鑑賞」(1) |
| 2 | 「B鑑賞」(1) | ア | イ | 〔共通事項〕   |
| 3 | 〔共通事項〕   | イ | ア | 「B鑑賞」(1) |
| 4 | 「B鑑賞」(1) | イ | ア | 〔共通事項〕   |



2 (1)～(6)の問いに答えよ。

(1) 版画の表現技法について、次の問いに答えよ。

次のA～Dと、に示されたその「制作方法」ア～エの正しい組み合わせとして、最も適切なものを1～4から1つ選べ。解答番号は11

著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。  出典： 600dpi パブリックドメイン美術館 <a href="https://600dpi.net/hasui-kawase-0003633/">https://600dpi.net/hasui-kawase-0003633/</a>	著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。  出典： ロートレック 《ジャンヌ・アヴリル》	著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。  出典： Tokyo Museum Collection (ToMuCo) －東京都立博物館・ 美術館収蔵品検索 <a href="https://museumcollection.tokyo/works/6381738/">https://museumcollection.tokyo/works/6381738/</a>	著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。  出典： Tokyo Museum Collection (ToMuCo) －東京都立博物館・ 美術館収蔵品検索 <a href="https://museumcollection.tokyo/works/6383012/">https://museumcollection.tokyo/works/6383012/</a>
A	B	C	D

「制作方法」

- ア 木や金属の枠に、絹などの細かい孔のあいた布（紗）を張って版とし、図柄以外の部分の孔を塞ぐ。この版の上にインクをのせて押し出すと図柄の部分の孔を通して、インクが図柄の形で用紙に転写される。
- イ 水と油の反発作用を利用して製版・印刷する版画で、版を彫ることなく、描いたままに再現できる。凹凸が少なく、現在の印刷物の大半がこの原理を応用したオフセットで刷られている。
- ウ スケッチを版木に転写し、線に墨入れをする。刷り重ねのための見当を入れ、彫刻刀で主版を彫り、黒インクで刷る。主版に彩色し、色数や重色を考えて色彩計画をする。薄めの紙に油性のインクで刷りバレンで加圧して転写する。使用する色の数だけ版をつくり、それを刷り重ねる。
- エ 防食材を塗った金属板をニードル等でひっかいて防食膜をはがし、はがした部分を腐食させることで凹部をつくる版画である。腐食の時間で凹部の深さを調整し、線や点の強弱をつけることができ、細かい表現が可能である。

- |   |     |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | A－エ | B－ウ | C－イ | D－ア |
| 2 | A－ウ | B－ア | C－イ | D－エ |
| 3 | A－イ | B－ア | C－エ | D－ウ |
| 4 | A－ウ | B－イ | C－エ | D－ア |

(2) 次の各文は、さまざまな材料の特性について説明した内容である。誤っているものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 紙は中国で生まれ、朝鮮を経て7世紀の初めに日本へ伝えられ、コウゾ・ミツマタ・雁皮など日本の伝統的な原料を使い、主に手漉きで作られる和紙が生まれた。和紙は丈夫で独特の手触りがあり、保存性に優れている。
- 2 プラスチック素材として、アクリル板は透明度が高く硬いのが特徴であり、紫外線や雨風など環境変化に強く、屋外での看板や案内パネルとして使用されている。PPシートは半透明で比較的軟らかく、カッターで切ることができる。
- 3 金属には、たたくと広がる延性と、引っ張ると伸びる展性がある。特に銅やアルミニウムなどは軟らかく、細かい表現をするのに向いている。また、たたくと硬くなる性質があるため、焼きなましという方法が用いられている。
- 4 竹は、強靱で弾力性に富み、さまざまな幅や厚みに裂いて編める特性と、素朴で清らかな色調がある。竹工芸に用いられているのは、真竹・女竹・黒竹・寒竹など20種類ほどで、なかでも粘りがあり竹細工に適した真竹がよく利用される。

(3) 大阪府作成の「色覚障がいのある人に配慮した色使いのガイドライン」(平成23年9月30日作成、令和4年4月1日改訂)に記載されているカラーユニバーサルデザインに関する内容について、誤っているものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 色覚障がいのある人にとっては、明度の高い色に比べて、「灰色と薄い水色」、「灰色と薄い緑」などのような明度の低い色の組み合わせは、識別がより困難になる。
- 2 円グラフなどを描く際に、見分けにくい色を隣接して使う場合は、境界線や地模様などで工夫する。
- 3 同色系の組み合わせや明るい色だけの組み合わせ、暗い色だけの組み合わせはできるだけ避け、明るい色と暗い色を対比させる。
- 4 色だけに頼った情報提供を行うのではなく、色名や文字、記号情報などを併記したり、線の太さや線種などを調整したりして、色がなくても理解できるようデザインすることが重要である。

(4) 次に示した布に着色する染色方法ア～エと、その説明に関する内容の組み合わせとして適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

「染色方法」

ア 友禅染め      イ 有松・鳴海絞り      ウ 更紗染め      エ 紅型

- ① 型附（カタチキ）と呼ばれる糊置防染手法による型染めで、型紙を当てて生地に糊を塗り、そのあとで取り去った型紙の模様の部分に色を差す染め方であり、沖縄の染物で独特な鮮やかさがある。
- ② 職人が布の上に絵を描くように多彩な色で表現する染色方法で、草花など自然の風景を描かれていることが多く、予め布に入れておいた下絵の輪郭に沿ってのりを塗り、防染したあとに筆や刷毛を使って色付けをしていく。
- ③ インドが起源とされている文様染めで、沢山の型紙を使い刷毛で染料をのせながら模様を作りあげていく技法である。異国的な色模様が美しく、現在では着物や帯、ふとん、風呂敷などに使われている。
- ④ 東海道五十三次の一つである宿で旅人が故郷へのお土産にと買い求めたことから繁栄したと言われている。職人が、下絵に合わせて綿糸や絹糸を生地に括りつけるが、糸によって締められた部分には染料が染み込まないため、これを利用して模様を作っている。その括り方は、技法ごとに専門の職人がおり、100種以上の技法・文様が生み出されてきた。

- |   |     |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | アー② | イー① | ウー③ | エー④ |
| 2 | アー② | イー④ | ウー③ | エー① |
| 3 | アー④ | イー② | ウー① | エー③ |
| 4 | アー③ | イー④ | ウー② | エー① |

(5) 次のEについて、【 ① 】～【 ④ 】に入る語句の組み合わせとして正しいものを1～4から一つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

出典：鳥獣人物戯画  
世界遺産 拇尾山 高山寺 公式ホームページ  
(kosanji.com)

E

Eは、【 ① 】後期に絵巻物として描かれた国宝である。この作品は全4巻からなり、当時の世相を反映して動物や人物を戯画的に描いたものである。江戸時代の浮世絵や北斎漫画などと同様、日本最古の漫画と称されている。絵巻物は左手で広げ右手で巻き取りながら肩幅半分ずつ見る。右手で巻き取られた部分は【 ② 】になり、左手側に【 ③ 】がある。異なる時間に起きたことを1つの画面に描く【 ④ 】も特徴的である。

- |   | ①    | ②  | ③  | ④      |
|---|------|----|----|--------|
| 1 | 平安時代 | 未来 | 過去 | 同時展開図法 |
| 2 | 平安時代 | 過去 | 未来 | 異時同図法  |
| 3 | 奈良時代 | 過去 | 未来 | 同時展開図法 |
| 4 | 奈良時代 | 未来 | 過去 | 異時同図法  |

(6) 大阪の伝統工芸品について、次の問いに答えよ。

次の伝統工芸品 F～I と、その名前、主な素材、技法の組み合わせとして、正しいものを 1～4 から 1 つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

出典：  
大阪伝統工芸品一覧  
大阪伝統工芸品産業振興協議会  
(eemon-osaka.com)  
大阪伝統工芸品産業振興協議会ホームページ

F

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

出典：  
大阪伝統工芸品一覧  
大阪伝統工芸品産業振興協議会  
(eemon-osaka.com)  
大阪伝統工芸品産業振興協議会ホームページ

G

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

出典：  
大阪伝統工芸品一覧  
大阪伝統工芸品産業振興協議会  
(eemon-osaka.com)  
大阪伝統工芸品産業振興協議会ホームページ

H

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

出典：  
堺打刃物（さかいうちはもの）の特徴や歴史  
－ KOGEI JAPAN（コウゲイジャパン）

I

	記号	名前	主な素材	製造工程で使う技法
1	F	和泉櫛	桜	板挽き、歯挽き、歯摺り
2	G	大阪欄間	屋久杉	屋根造り、漆塗り、蒔絵
3	H	大阪張り子	紙	木地張り、胡粉塗り
4	I	堺打刃物	鉄	灰もみ、ボイル加工、火のし

3 「光」をテーマにしたさまざまな時代の作品を取り上げ、「光」がもたらす造形的な要素に着目して鑑賞の活動を行うことにした。次に示すア～ウについて、(1)～(2)の問いに答えよ。

(1) 次のア、イについて以下の問いに答えよ。

<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典：美術資料 大阪府版 京都市立芸術大学美術教育研究会 秀学社 106ページ</p>	<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典：感じる表す美術 浜島書店編集部 浜島書店 134ページ</p>
ア	イ

- ① ア、イの作者名及び作品名を答えよ。
- ② アとイを比較して、光の表現に着目して鑑賞する際に、生徒に対してどのような説明をするか答えよ。以下の枠内に示した語句をすべて用いて答えること。

バロック      絵の具      モネ

(2) 次のウに関する文章の空欄に当てはまる語句を答えよ。

私たちが生活する上で光は欠かせないものであり、心理的効果もある。影絵は多くの国で親しまれている光と影による表現であり、紙や皮、木などでつくられた人や動物などに後方から光を当て、その影をスクリーンに投影する。現代ではウのように、コンピューターなどで作成した映像とプロジェクターなどの映写機器を用い、建物や立体的な物体に映像を映し出す技術として、  
がある。

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

出典：<https://kyototrip.net/osaka/lights-art/>  
2023 大阪 OSAKA トリップ  
～観光・イベント・グルメ～

ウ

4 「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I」をふまえ、粘土を使って表現する題材を設定することにした。

【表I】の題材について、次の（1）～（3）の問いに答えよ。

【表I】

時数	題材名	内容のまとめ
8		絵画・彫刻「A表現」（1）アイ及び「B鑑賞」（1） ア（ア）〔共通事項〕

（1）次の留意事項をふまえながら【表I】の題材名及び題材の概要を解答欄に示せ。

留意事項

- ・題材設定の際には、教科横断的な視点で組み立て、一人一台配付した情報通信ネットワークに接続可能なタブレット端末の効果的な活用を行うこと。
- ・題材の概要には、「生徒の育成をめざす資質・能力」を明確にしたうえで、「何から主題を生成するのか」等を示しながら学習活動の流れを簡潔に示すこと。

（2）学習指導要領において、「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を十分に図り、学習の効果が高まるように指導計画を工夫する必要があるとされている。（1）で示した題材において、鑑賞の学習の指導をどのように工夫するか示せ。

（3）本題材において、発想や構想に関する資質・能力及び鑑賞に関する資質・能力を一層高めるために、どのようにして言語活動の充実を図るか示せ。





# 令和6年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

## 三次選考択一問題の正答について

校種	高等学校	教科・科目	美術
----	------	-------	----

解答番号	正答番号	解答番号	正答番号
1	3	11	4
2	1	12	3
3	2	13	1
4	2	14	2
5	3	15	2
6	2	16	3
7	2		
8	4		
9	1		
10	3		

受験番号	
------	--

令和6年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 芸術（美術）解答用紙 (2枚のうち1)

3	得点	
---	----	--

--

	①	ア	作者名	レンブラント・ファン・レイン (レンブラント)	/	
			作品名	夜警	/	
		イ	作者名	オーギュスト・ルノワール (ルノワール)	/	
			作品名	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	/	
(1)	②	<p>ルネサンス後の17世紀、画家たちは調和を重んじる表現から、よりインパクトの強い表現をめざした。この時代の芸術をバロックといい、作品ア（レンブラントの「夜警」）からは、あえて暗い色調で描き、劇的に見せるためスポットライトを中心の2人に当てているかのように描くことで光と影の明暗の対比から作者の主題が強調されている。</p> <p>その後18世紀では写実主義を経て、絵の具を長時間保存できる金属チューブの開発により、画家たちは戸外で制作できるようになった。その時代の代表的な作家であるモネは刻々と変化する自然を見逃すまいと何度も同じモチーフを描き続け、物体の輪郭や奥行きがはっきりしない絵が特徴的である。作品イのルノワールも同様に、パリ郊外の野外ダンス上で踊る人々を情感豊かに描いた。特徴的なのは降り注ぐ光を地面や人の背中に斑点のように描き、ゆらめく木漏れ日をうまく表現している。</p>			/	
(2)	プロジェクションマッピング			/		

--

--

受験番号	
------	--

令和6年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 芸術（美術）解答用紙 (2枚のうち2)

4	得点
---	----

--

(1)	題材名	私の思いを広げていこう SDGs〇〇の目標 /	
	題材の概要	<p>SDGs 17の目標をテーマに、感情やイメーなどを単純化や強調等を意識して石粉粘土で表すことに関心をもち、安定感や緊張感等造形の美を感じ取りながら美術がもつ力を考える。総合的な探求の時間で、17の目標を調べることで課題に向き合い、自身が一番強く表したい目標から主題を生成し、形や質感、重心やバランス、どんな場所にどんな大きさで設置することで、より美術の力が発揮されるのか等を総合的に考えながら、発想や構想を練る。その際、作品は模型サイズとなるが、実際に設置することをイメージする。</p> <p>制作段階においては、石粉粘土の特性を活かしながら、形や質感がもたらすイメージに着目し、意図に応じた表現方法を追求する。完成した作品はタブレットを使用し、設置したい場所の写真と合成し、互いに鑑賞し合うことで、美術の力を感じ取る。</p>	/
(2)		<p>導入では、池田学の「誕生」から作者の思いと美術の力を感じ取った後、彫刻作品を数点グループで鑑賞することで、形や質感、バランスがもたらす安定感や緊張感等のイメージを感じ取り、発想や構想を行う。</p>	/
(3)		<p>グループで彫刻作品を鑑賞する際に、造形的な視点のキーワードを数多く出させる。またそのキーワードを常に黒板に貼って可視化することで、造形的な視点に常に意識をもてるようにする。また、発想の段階ではマインドマップ等で思考を言語化したり整理したりすることで発想をふかめていく。</p>	/

--

--

--